

2020年

2021年

2022年

T
M

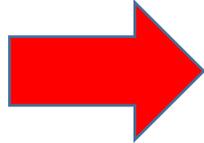
4~5月



9~10月

意見

7月



11月

大学生

5~6月



7~10月

審議会

10~3月



1月~7月

P
C

5~6月

詰め込み

市民意識とのズレ

熟議の不足

置き去り気味な

コロナ教訓とSDGs

9月

基本構想案の議会上程

1~2月

行政経営システム
再構築、BPR導入

アクションプラン作成

4月

第5次総合計画始動

新型コロナ

第5次総合計画策定本部会議（6月2日、17日、7月7日、29日）

市民の意見をしっかりと反映した
総合計画を策定できるのか

策定スケジュールを順延し、まずは各課事務事業を
整理する時間の確保が必要ではないか

時間をかけてでも現状を鑑みて今後10年を見据えた
しっかりしたものを策定する必要がある

現策定スケジュールのまま進めていくのはリスクがある
順延の検討余地がある

基本構想素案・原案の策定過程

STEP
1

全市、分野別の
重点課題洗い出し

STEP
2

第2期人口
ビジョン等の反映

STEP
3

「市の将来都市像」
の検討

STEP
4

「まちづくり
基本方針」検討

STEP
5

土地利用方針検討

STEP
6

「施策の大綱」検討

市民や職員の意見は反映可能か

あと4ヶ月

2021年1月 基本構想審議会

SDGs

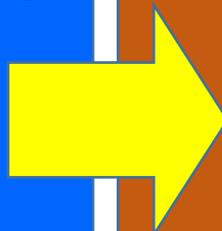
Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標

17の目標と169のターゲット

2030年

誰ひとり取り残さない社会の実現



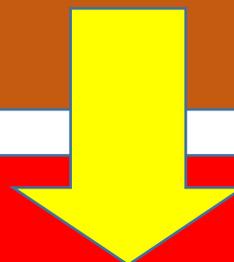
自治体の役割

取捨選択し

各地域の実情に合わせて

落とし込む作業

UCLGの説明



総合計画の推進で
SDGs達成に資する
◎◎市版SDGs



169ターゲットとの関連

17目標、

総合計画とSDGs



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

住民の健康維持は自治体の保健福祉行政の根幹です。国民皆保険制度の運営も住民の健康維持に貢献しています。都市環境を良好に保つことによって住民の健康状態を維持・改善可能であるという研究成果も得られています。

総合計画

主な取組

- ヘルスアップ尼崎戦略の推進
(組織横断的な健康支援)
- 市民の健康寿命の延伸
(たばこ対策の推進)
- 安全・安心に産み育てることができる家庭環境づくりの支援
- 感染症の発生予防及びまん延防止対策の推進
- 交通安全対策の推進

関連項目(施策)

- 施策4：子ども・子育て支援
- 施策10：健康支援
- 施策12：生活安全

該当ターゲット ターゲット16、17、18、19、20、21、22、24、25



すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

教育の中でも特に義務教育等の初等教育においては自治体が果たすべき役割は非常に大きいといえます。地域住民の知的レベルを引き上げるためにも、学校教育と社会教育の両面における自治体行政の取組は重要です。

総合計画

主な取組

- 「学びの先進都市」の推進
(子どもの育ち支援センターや(仮称)ユース交流センターなど、子どもから大人までの学びと育ちを支援する拠点であるあまがさき・ひと咲きプラザの整備、学びと育ち研究所における科学的根拠に基づく研究)
- 教育・学習内容の充実、子どもの健康な体づくり

関連項目(施策)

- 施策2：生涯学習
- 施策3：学校教育
- 施策4：子ども・子育て支援
- 施策5：人権尊重・多文化共生
- 施策8：障害者支援
- 施策14：魅力創造・発信

該当ターゲット ターゲット29、30、32、33、35、36

3 すべての人に
健康と福祉を



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



健康寿命
癒し

社 会

薬王寺温泉エリア

ゆ
食事
医療費適正化

経 済

水
空気
森林

環 境

6 安全な水とトイレ
を世界中に



15 陸の豊かさも
守ろう



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを

